

令和7年度北信越高等学校体育大会 兼第65回北信越高等学校対抗卓球選手権大会 実施要項

- 1 主催 北信越高等学校体育連盟・石川県高等学校体育連盟
- 2 共催 石川県教育委員会・金沢市教育委員会・（公財）石川県スポーツ協会
石川県卓球連盟・金沢市卓球協会
- 3 主管 石川県高等学校体育連盟卓球専門部
- 4 期 日 令和7年6月21日（土）～22日（日）
- 5 競技日程 6月20日（金） 13：00～ 5県委員長会議
15：00～ 監督会議
16：00～ 開会式（15：45フロア集合）
6月21日（土） 8：30～ 学校対抗決勝まで、シングルス1回戦，
ダブルス2回戦まで
6月22日（日） 8：30～ シングルス・ダブルス決勝まで
表彰式・閉会式
- 6 会 場 いしかわ総合スポーツセンター
〒920-0355 石川県金沢市稚日野町北 222 TEL076-268-2222
- 7 競技種目 男女学校対抗・男女ダブルス・男女シングルス
- 8 競技規定
 - （1）現行の「日本卓球ルール」及び以下を適用する。
 - ア ゼッケンは（公財）日本卓球協会発行のものとする。
 - イ 部旗の掲示は200cm×150cm以内のものを1校1枚までとする。
 - （2）個人戦のアドバイザーのベンチ入りについて
 - ア アドバイザーの資格は、大会申し込み時にエントリーされた当該校の監督・選手に限る。
 - イ アドバイザー（1名）は、試合開始時に選手とともに競技場に入場する。但し、他のコートでアドバイスしていた場合は、試合中にベンチに入ることができる。試合途中でコートを離れてもよいが、以後はそのコートには復帰できない。
 - （3）日本卓球ルールの中で特に留意すること
 - ア ラケット、正規のサービス及び促進ルールについて正しく理解すること。
 - イ 競技用ユニフォームは、（公財）日本卓球協会発行公認マークの付いたものとし、明らかに異なった色のものを2着以上持参すること。
 - ウ ラバーをラケット本体に貼る場合に使用する接着剤は（公財）日本卓球協会が公認した接着剤のみとし、必ず指定した場所で使用すること。
 - エ タイムアウト制は、学校対抗の全試合および個人戦の準々決勝以上において採用する。
 - （4）試合前の練習は3本以内または1分以内の短い方とし、ゲーム間の休憩は1分以内とする。

9 競技方法 全国高等学校総合体育大会卓球競技要項に準ずる。

10 引率・監督

- (1) 引率責任者は、学校対抗の場合は校長の認める当該校の職員とする。個人の場合は校長の認める学校の職員とする。また、校長から引率を委嘱された「部活動指導員」(学校教育法施行規則第78条の2に示された者)も可とする。但し、「部活動指導員」に引率を委嘱する校長は、各県高体連会長に事前に届け出る。
- (2) 監督・コーチは校長が認める指導者とし、それが外部指導者の場合は傷害・賠償責任保険(スポーツ安全保険等)に必ず加入することを条件とする。
但し、各県における規定があり、引率・監督者がこの基準により限定された範囲内であればその規定に従うことを原則とする。
- (3) 監督は必ず(公財)日本卓球協会発行の役員章を付けること。

11 参加資格

- (1) 選手は、学校教育法第1条に規定する高等学校(中等教育学校後期課程を含む)に在籍する生徒であること。但し、休学中・留学中の生徒は除く。
- (2) 選手は、北信越5県各県高体連に加盟している学校の生徒で、当該競技実施要項により大会の参加資格を得た者に限る。
- (3) 年齢は、平成18(2006)年4月2日以降に生まれた者とする。但し、出場は同一競技3回までとし、同一学年での出場は1回限りとする。
 - ア 「出場」とは登録やエントリーではなく試合への出場回数をさし、専門部が責任を持って調整・確認する。 ※ベンチに入ることは「出場」とみなす
 - イ 大会参加資格を満たし、日程等が重ならない場合は複数競技への参加を認める。
- (4) チーム編成において、全日制課程・定時制課程・通信制課程の生徒による混成は認めない。
- (5) 複数校合同チームの大会参加は原則として認めない。ただし、統廃合の対象となる学校については統廃合完了前の2年間に限り、合同チームによる参加を認める。
- (6) 転校・転籍後6ヶ月未満のものは参加を認めない。(外国人留学生もこれに準ずる)但し、一家転住などやむを得ない場合は、各県高体連会長の認可があればこの限りでない。
- (7) 出場する選手はあらかじめ健康診断を受け、在学する学校の校長及び所属する高体連会長の承認を必要とする。
- (8) 参加資格の特例
 - ア 上記(1)(2)に定める生徒以外で、当該競技要項により大会参加資格を満たすと判断され、県高体連が推薦した生徒について、全国高校総体開催基準要項の「大会参加資格の別途に定める規定」に従い大会参加を認める。
 - イ 上記(3)の但し書きについては、学年の区分を設けない課程に在籍する生徒の出場は、同一競技3回限りとする。
- (9) 本年度(公財)日本卓球協会に登録された者であること。

(次頁へつづく)

- 12 参加制限 各種目の参加数は各県の予選を通過した下表の通りとする。シングルス参加数には、前年度北信越１年生選抜卓球大会における１・２位の選手が推薦選手として含まれる。

	長野		富山		新潟		福井		石川		合計	
	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女	男	女
学校対抗	3	3	3	3	3	3	3	3	4	4	16	16
ダブルス	6	6	6	6	6	6	6	6	8	8	32	32
シングルス	12	12	12	12	12	12	12	12	16	16	64	64

- 13 使用球 VICTAS・ニッタク・タマスの（公財）日本卓球協会公認プラスチック球（４０mm 白球）とする。

- 14 参加料 学校対抗（１チームあたり） ２０，０００円
個人戦（１人あたり） ２，０００円（種目数とは関係なし）

15 申込方法

- （１）各校は以下のものを、各県の指定日までに各県委員長へ申し込む。

（ア）大会参加申込書 （イ）大会参加料 （ウ）宿泊申込書のコピー

- （２）各県委員長は、以下のものをまとめて申込期日までに開催県へ申し込むこと。

（ア）選手一覧表等 （イ）大会参加申込書 （ウ）大会参加料

（エ）宿泊申込書のコピー （オ）大会参加料送金一覧表

※（ウ）以外の書類は、学校長印および高体連会長印等のあるものを委員長が PDF ファイル等で開催県へデータ送信することも可とする。ただしその際は、紙媒体原本を委員長が大会当日に必ず持参すること。

16 申込締切

- （１）各県の予選が終了次第、下記の締め切りを厳守して関係書類送付および参加料納入を行うこと。

申込〆切	
各県委員長宛締切	6月11日（水）必着
開催県宛締切	6月12日（木）正午必着

17 申込先

- （１）郵送先

各県委員長が関係書類を郵送する場合は、締め切りまでに下記へ書留郵便で郵送すること。

郵送先
〒920-818 石川県金沢大樋町16-1
石川県立金沢桜丘高等学校 竹中 二郎 宛
TEL 076-252-1225 Fax 076-252-1643

（次頁へつづく）

(2) メールによる送付について

各県委員長が上記 15 申込方法にある書類をデータ送信する場合は、締め切りまでに下記あてに送信すること。また、郵送する場合であっても(ア)選手一覧表等 に関しては同時にデータも送信すること。

送信先

Email : kpnsmlng@ishikawa-c.ed.jp

(石川県立金沢桜丘高等学校 竹中 二郎 宛)

(3) 参加料の振込先

参加料は各県でとりまとめて下記口座へ振り振り込むこと。(手数料は各県でご負担願います。)

指定口座

北陸銀行 羽咋支店 (3 2 2) 普通口座 6 0 3 9 2 0 2

高体連卓球部 会計 ^{まつだ}松田 ^{りょうへい}良平

18 宿 泊

(1) 大会参加者は、必ず別紙「宿泊・弁当申込書」に必要事項を記入したうえで宿泊案内記載の業者へ申し込み、申込書のコピーを各県委員長に提出すること。

(2) 宿泊料：1 人 1 泊 2 食 1 2, 3 0 0 円

1 泊朝食 1 1, 0 0 0 円

1 泊素泊 9, 5 0 0 円

(いずれも弁当代 1, 0 0 0 円 [税込・お茶付] は別途)

(3) 宿泊は大会本部斡旋の宿舎を必ず利用すること。

19 そ の 他

(1) 申込締切以後、学校対抗の選手変更は原則として認めない。やむを得ず選手変更をしなければならない場合は、5 県委員長会議開始前に学校長印のある変更届を当該県委員長に提出すること。

(2) 不可抗力の場合を除き、無断で大会を棄権した者は次の大会への出場を停止する。棄権する場合は、大会前に学校長印のある理由説明書(様式自由)を各県の委員長に提出すること。

(3) 6 月 2 0 日(金)は、1 1 : 0 0 ~ 1 5 : 0 0 まで大会会場での練習を認める。
開会式後の練習は認めない。

(4) 配宿決定後の人数・泊数・弁当数の変更は速やかに旅行業者に連絡するとともに、各県委員長にも報告すること。

(5) 各種目とも 3 位までを表彰する。